

令和2年度 聖智学園 事業報告

【令和2年度児童・職員の異動について】

<聖智学園>

1. 令和2年度中の入所児童

年令は入所時

No.	氏名	年令	性別	入所月	入所の主な理由
1			男	4月	
2			男	7月	
3			女	11月	
4			女	3月	
5			男	3月	

2. 令和2年度中の退所児童

年令は退所時

No.	氏名	年令	性別	退所月	退所の主な理由
1			女	6月	
2			男	6月	
3			男	6月	
4			男	7月	
5			男	7月	
6			男	12月	
7			男	3月	
8			女	〃	
9			女	〃	
10			男	〃	
11			女	〃	

3. 在園児童学年別表（定員30名）

区分	幼児	小学校							中学校				高校				計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
男	2	1	1	0	2	1	3	8	0	0	2	2	3	0	0	3	15
	2	1	1	0	2	1	1	6	1	0	0	1	0	0	0	0	9
女	3	0	1	1	1	0	2	5	2	1	0	3	0	0	0	0	11
	4	0	1	1	1	0	1	4	2	0	0	2	0	0	0	0	10
計	5	1	2	1	3	1	5	13	2	1	2	5	3	0	0	3	26
	6	1	2	1	3	1	2	10	3	0	0	3	0	0	0	0	19

上段：令和2年4月 1日

下段：令和3年3月31日

4. 職員の異動について（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(1) 採用

No.	氏名	年令	性別	採用年月日	職種	理由
1			女	R2. 4. 1	調理員	職員補充のため
2			女	R2. 9. 1	児童指導員	加算職員
3			女	R2. 11. 1	管理宿直	職員補充のため
4			女	R2. 11. 1	児童指導員	加算職員
5			女	R2. 11. 1	保育補助	加算職員

(2) 退職

No.	氏名	年令	性別	退職年月日	職種	理由
1			女	R3. 3. 31	児童指導員	一身上の都合
2			女	R3. 3. 31	〃	〃
3			女	R3. 3. 31	〃	〃
4			女	R3. 3. 31	〃	聖和の杜異動
5			女	R3. 3. 31	〃	〃
6			女	R3. 3. 31	〃	〃
7			女	R3. 3. 31	〃	〃
8			女	R3. 3. 31	保育補助	〃

5. 職員組織

職名		施設長	施設長代理	副施設長	児童指導員 加算職員	保育士 (非常勤)	事務	調理員	栄養士	他	合計
人員数	R 2. 4. 1	1	1	0	5 7	2 (1)	1	2	2 (兼調理員)	3	24 (1)
	R3. 4. 1	1	1	1	5 6	2 (1)	1	2	3	2	24 (1)

【一時保護等の受入】

月日	種類	性別	年齢	児童	管轄	利用理由
4/15-5/13	一時保護委託	男			中央	
6/8-6/10	〃	男			〃	
6/16-6/23	〃	男			〃	

6/12-7/31	〃	男			〃	
6/23-7/3	〃	女			〃	
〃	〃	女			〃	
7/9-8/11	〃	女			〃	
7/9-8/21	〃	女			〃	
7/9-8/13	〃	男			〃	
2/10-2/21	〃	女			〃	
9/15-3/31	〃	男			西宮	
〃	〃	男			〃	
〃	〃	女			〃	

<地域小規模児童養護施設>

グループホームまほろば

1. 令和2年度中の入所児童

年令は入所時

No.	氏名	年令	性別	入所月	入所の主な理由
1	なし				

2. 令和2年度中の退所児童

年令は退所時

No.	氏名	年令	性別	退所月	退所の主な理由
1			男	3月	就職自立

3. 在園児童学年別表（定員6名）

区分	中学校				高校				計
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
男	0	0	0	0	1	0	1	2	2
	0	0	0	0	1	0	0	1	1

上段：令和2年4月1日

下段：令和3年3月31日

4. 職員の異動について（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(1) 採用

No.	氏名	年令	性別	採用年月日	職種	理由
1			女	R2.4.1	保育士	職員補充
2			女	R2.4.1	保育士	地域分散化加算

(2) 退職・異動

No.	氏名	年令	性別	退職年月日	職種	理由
1			女	R3. 3. 31	保育士	聖智学園異動

5. 職員組織

	職名	施設長	児童指導員	保育士	調理員等	管理宿直	合計
人員数	R2. 4. 1	1	1	2	0	1	5
	R3. 4. 1	1	0	2	0	1	4

グループホームあすなろ

1. 令和2年度中の入所児童

年令は入所時

No.	氏名	年令	性別	入所月	入所の主な理由
1			男	5月	聖智学園より措置変更
2			男	5月	〃
3			男	6月	〃

2. 令和2年度中の退所児童

年令は退所時

No.	氏名	年令	性別	退所月	退所の主な理由
1			男	3月	就職自立

3. 在園児童学年別表（定員6名）

区分	中学校				高校				他	計
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	計	
男	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
	0	0	0	0	3	0	0	0	3	3

上段：令和2年4月1日

下段：令和3年3月31日

4. 職員の異動について（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(1) 採用

No.	氏名	年令	性別	採用年月日	職種	理由
1			女	R2. 8. 1	児童指導員	地域分散化加算

(2) 退職・異動

No.	氏名	年令	性別	退職年月日	職種	理由
1			女	R3. 3. 31	児童指導員	聖智学園異動

5. 職員組織

職 名		施設長	児童指導員	保育士	調理員等	管理宿直	合 計
人 員 数	R2.4.1	1	2	0	0	1	4
	R3.4.1	1	2	0	0	1	4

【令和2年度事業実施状況】

(1) 自立支援計画の推進

1) 自立支援計画について

4月	各担当で支援計画を立て、順次ケース会議を行う。
5月	今年度の支援目標を児童に伝え、同意をもらう。
6月	自立支援計画を各こども家庭センターへ提出する。
7月	自立支援計画第一回見直しのため、順次ケース会議を行う。
9月	自立支援計画第二回見直しのため、順次ケース会議を行う。
12月	自立支援計画第三回見直しのため、順次ケース会議を行う。
3月	自立支援計画第四回見直しのため、順次ケース会議を行う。

2) アセスメントシートについて

- ・年度初めに今年度のアセスメントシートを作成し、随時入力した。
- ・4月上旬、こども家庭センターに前年度のアセスメントシートを提出した。
- ・5月、こども家庭センターから当面の方針の返答が届いた。
- ・3月、アセスメント、ケース会議行い見直しをした。

(2) 治療的養育の推進

- ・「愛着」にまつわる研修の実施
→4月に新任職員を対象に愛着とライフストーリーワークの関連について研修実施
- ・児童との関わり（受容と共感、褒めることで注目する）について適宜個別に助言

(3) 自立支援の推進

1) リービングケア（食事作り）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、調理実習、アルバイト、退所児童との交流は実施しなかった。

- ・本園：9月20日 昼食作り（たこ焼き作り）食堂にて実施。
- ・グループホーム：可能な限り、毎食食事の準備をした。休日には、簡単な食

- 事を自分たちで最初から調理した。
- ・その他、献立会議について毎月実施する。

2) アフターケア

児童	退所年度	年齢	内容
			8/11 家庭の相談及び学園訪問伺い
			6/15 来園。一泊宿泊 7/20 学園行事参加 8/20 盆帰省、墓参り 11/1 学園宛に荷物が送られてくる 12/3 奨学金書類について電話連絡
			4/22 電話連絡による近況確認 7/24 来園による近況確認
			3/19 高校受験の可否連絡 3/23 島内での目撃情報があり関連機関と共有

他、4・5月 卒園児の状況確認を行った。

12月 卒園児13名に調査用紙と共に職員より応援メッセージを送付

(4) 学習指導の充実

1) 公文の実施 (4月～12月まで ※改築工事に伴う一時中止)

- ・月曜から金曜日の週5回実施。
- ・3つの時間帯 (16:00～16:30、16:30～17:00、17:00～17:30) に分け、少人数で実施。(居室ごとに行い、月で時間帯をずらす)
- ・ポイント制度の導入…30分以内に採点、直しがある場合は直しが終わればシールがもらえる。10ポイントたまると1回公文を休むことができ、ポイントを使わずためていくことで、ポイントごとに景品があり、ポイントを使って交換することができる。
- ・月1回公文担当者会議を行い、子どもの状況を把握するとともに支援方法(教材、枚数、進捗等)を検討した。
- ・研修等は感染症拡大防止のため中止。

2) 学習塾の実施状況

氏名	学習塾名	開始月	受講科目	頻度	時間
		R2.6～	英語 数学	週3	火・水(英) 19:30～21:00 金(数) 18:00～19:30
定期テストの点数については大きな振れ幅もなく、維持することができている。また、学習時間も計画的に行うことができおり、学習意欲の向上に繋がっている。					

		R2. 6～	英語 数学	週 3	火・水(英) 19:30～21:00 金(数) 18:00～19:30
<p>定期テストの点数についてそれほど振れ幅はないが、テスト前だけしか意欲的に取り組めず。普段の学習時間、塾での学習態度はあまり良くなく、その都度指導し、少しずつ改善はしてきているが、今後も見守りが必要である。</p>					

3) その他、学習指導での取り組み

①小学生

- ・下校後、子どもたちの連絡帳、学校からの配布物を確認した。終わった宿題にはチェック（連絡帳に）を入れ記名した。明日の準備物や時間割等を子どもと一緒に確認した。（低学年）
- ・土日祝は、朝の9時から10時に学習時間を設け、学習支援員が用意した各自に応じた内容の自学ノートを利用し、自主学習に取り組んだ。

②中高生

- ・平日の21時から22時に学習時間を設け、宿題や自主学習に取り組んだ。
（休日には朝の9時から10時にも学習時間を設けている）
- ・考査1週間前や受験生は、通常の学習時間に合わせ、19時から20時にも学習時間を設けた。
（休日には朝の9時から10時、13時から15時にも学習時間を設けている）
- ・子どもからの要望があれば、子どもの状況を考慮しながら学習塾への通塾を検討した。

(5) 性教育の実施

1) 子どもの発達状況や課題に応じた性教育

①新入所の小・中学生男子（5月実施）

内容：プライベートパーツの約束／他者との境界線

②小学校高学年男子（6月実施）

内容：プライベートパーツの約束／男子の体の成長／性器の洗い方

③小学校低学年男子（6月実施）

内容：プライベートパーツの約束／他者との境界線

④小学校低学年女子（5月実施）

内容：体を清潔に保つこと／他者との境界線

⑤女子グループA（7月実施）

内容：生理／異性との関わり・適切な距離

⑥女子グループB（8月実施）

内容：体を清潔に保つこと／生理／他者との境界線

⑦中高生男児（個別で随時実施）

内容：メディアやインターネットから得られる情報の危険性／
異性との関わり

2) 日常生活の中での性教育

- ①入浴時には洗い残しがないか、外遊び後には汗を拭いて着替えをするなど自身の身体を清潔に保てるような声かけ
- ②人前で性器を触る、性器のことでふざけて盛り上がる児童に対してプライベートパーツのルールを伝え、自身の身体を大切にしてみんなが安心安全に暮らせるような声かけ
- ③同性異性問わず距離が近すぎる時には他者との境界線を意識できるような声かけ等をその場に居合わせた職員が随時行った。

3) 会議実施状況

4月(2回)、5月、9月、2月の計5回にわたり、性教育の実施内容、結果報告、反省点について共有した。

(6) 子どもの権利擁護の推進

1) 人権ノートの活用

- ・昨年度に新たな権利ノートを作成しており、それを小中高生に配布説明済み
- ・新入所児にはその都度権利ノートを配布・説明した。

2) ライフストーリーワーク

- ・真実告知といった狭義のライフストーリーワークは未実施
→子どもには知る権利があるが、真実告知によって揺れ動く気持ちもある。
ライフストーリーワークの進め方について児童養護移設連絡協議会が関係機関や有識者と協議中。
- ・学校での生い立ち学習
小学二年生を対象に学校で名前の由来や小さい時の様子を調べる授業があり、該当児童には保護者・センター連携の下で写真の準備やエピソード、名前の由来を伝えた。
- ・生活の中でのライフストーリーワークは日常的に実施
①個人アルバムの作成 ②各フロアでの写真展示 ③年間アルバムの制作
季節ごとの写真を各担当職員が児童とともに個人のアルバムを制作。
⇒園行事数が少なくなった分、園での日常生活や外遊びでの児童らの様子に焦点を当て、写真を撮りためた。
 - ・各担当職員と過去の出来事をともに振り返る機会を作った。
 - ・主に幼児や低学年時の個人アルバムには、各担当職員からメッセージを書き込んだ。

(7) 被措置児童虐待対応の強化

1) こどもたちへの説明(メールの出し方等)

- ・年度当初に視覚的に確認が可能な備品を新調し、各種関係機関の連絡先を

更新した掲示物と共に、児童自治会にて年齢別に説明方法を工夫しながら、4月中にアナウンスを実施。SOSの出し方については、①施設PCからのメール、②施設長直通の相談ポスト、③権利ノートに添付されているハガキ、④学校や友人保護者等身近な大人へのSOS発信が有効という情報伝達。以上4点を提示した。

- ・施設版権利ノートを令和2年4月に改定。上記の内容を盛り込んだ資料を在籍している児童については随時説明を行い、4月以降入所の児童には配布した。
- 2) 処遇援助スキル研修
- ・当初予定していた外部研修について、感染症拡大防止のため参加を見合わせる事となった。次年度以降副主任以上の職員にて外部研修に参加し、多様化する児童の特性に配慮した処遇ができるよう現場職員で共有した。

(8) 処遇職員の専門性の向上

職員研修 ※感染症拡大防止対策により一部研修中止及び見送り

9/14 日本認知行動療法学会 (WEB)

11/1 日本児童青年精神医学会 (WEB)

3/1 ファミリーソーシャルワーク研修 (WEB)

その他、園内研修の実施 ((2) 治療的養育の推進参照)

(9) 第三者評価の受審

調査日：令和2年10月6～7日

評価機関：はりま総合福祉評価センター

実施状況：全職員による自己評価を集計した結果をもとに、グループで会議を行い施設としての評価を決定した。

調査日は評価機関と統括主任が主となり評価項目について再検討を行い、公表事項について決定した。1月14日報告会を経て1月31日公表。

(10) ボランティアの活用

地域の春祭りは感染症拡大防止のため中止となった。また、例年「ふれあい縁日」「クリスマス会」などの園内行事で地域の人々を招待していたが施設児童及び職員のみで実施。その他ボランティアの受入についても停止した。

(11) 里親支援

1) 電話による相談数：14回

2) 里親支援部会及び中央里親会への出席：7～3月に月2回(リモート含)

※今年度は感染症拡大防止のため里親サロンなどの行事が中止。

次年度より、里親支援業務を聖和の杜（乳児院）の里親支援専門相談員に移行する。

（12）こどもたちの心を育む

- 1) 園内クラブ ※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止及び縮小
 - ①フットサル
 - ・全体では未実施。週末の外遊び時に積極的にサッカーの参加を促した。3月6日にフットサル場を使用し、小学生、中高生に分かれて試合形式を行った。
 - ②水泳
 - ・小学生女子5名、男子2名のみ実施したが夏休み期間が短いため、今年度は一人一回のみ練習時間を40分の短縮で行った。
 - ・更衣室での密を避けるため、園にて水着に着替えてからプールへ移動し、移動の際はマスク着用、手指の消毒、うがい手洗いを徹底した。

⇒全員一回のみの練習にも関わらず、一生懸命取り組み全員が上達しており、もう少し練習を行いたいと話す子どもが多かった。
 - ③クッキング
 - ・二回の講習（食中毒、野菜の下処理）後に調理補助を予定していたが中止
- 2) 園内係
 - ①CD・DVD係 ②図書係
 - 貸出ルールの確認、整理を行った。
 - 行事の際や子どもたちの要望により入替や購入をした。
- 3) 買い物体験 ※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止及び縮小
 - ①中高生
 - ・夏休み中、ネットショッピングの正しい知識/危険性に関する学習会を開いた。買い物方法にもネットショッピングを取り入れ、社会的スキルの向上に繋げた。
- 4) 自転車
 - ・新入所児童に対し自転車安全教室の実施を行い、自転車の扱い方、交通ルールを確認した上で、前年度から引き続き自転車練習カードを用いて乗り方練習を行った。練習場所は小学校に許可を得た上で、小学校グラウンドに変更。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、練習回数や外に行く機会が限られたため、今年度自転車の免許発行は6名中2名にとどまった。
- 5) ゲーム・PC・テレビ
 - ・各担当職員や余暇指導係を中心に使用時間、内容などを確認した。

（13）食育の推進

- ・子ども達の誕生日にはリクエストによりメニューを決定した。
- ・月に1度、調理員による手作りおやつを提供（クッキー・ゼリー等）
- ・園内クラブによる調理体験は感染症拡大防止のため延期。

献立会議等実施状況

4/20	GWメニューについて考える。焼肉に決定
5/23	例年は外でのバーベキューを行うが、感染症予防のためホットプレートで簡易に行う
6/20	調理員、子どもたちへのマスク徹底を再度注意喚起
7/19	縁日メニューについて話し合う。こどもたちへのアンケート実施
8/22	縁日メニュー決定。たこやき・冷やしラーメン・かき氷・チョコバナナ・ジュース・チーズドッグ
9/15	夏休みに感染症対策のため行事メニューがほぼなかったことを考慮し、たこ焼きパーティを実施検討
10/20	献立に関する会議
11/14	クリスマスメニューの検討
12/21	例年の餅つき中止の決定
1/13	感染症対策のため、食事のとり方について検討する
2/13	卒園式メニューの検討。卒園生にアンケートを行う。
3/23	新年度に向け、新たなメニューを検討する

(14) 施設のリスクマネジメント

1) 防災訓練

訓練日時	訓練種別	内容
4/28	避難訓練	調理室から火災発生を想定
5/29	避難訓練	隣家より火災発生を想定
5/30	不審者防犯研修	3年未満の職員対象に不審者対応の研修
6/23	避難訓練	集中豪雨による水害を想定
7/27	避難訓練	女子居室より火災発生を想定
9/5	避難訓練	調理室から火災発生を想定
9/26	避難訓練	夜間、多目的室より火災発生を想定
10/30	避難訓練	3階リネン室から出火を想定
11/28	避難訓練	2階ユニットリビングから火災発生を想定
12月	実施せず	改築工事の為
1/26	避難訓練	地震発生を想定
2/26	総合訓練	2階洗面所から火災発生を想定
3/20	避難訓練	地震発生を想定

2) ヒヤリハット

日付	場所	児童	状況
4/14	園庭	幼児	うんていで遊んでいる際、手を滑らせて落ち唇をうつ。

4/23	園庭	幼児	遊んでいる際、転倒し鉄棒の足で擦る。また、右目の横辺りも擦る。
4/24	幼児居室	幼児	部屋の中を走り、転倒。転んだ際、たんすの角で頭部の左側をうつ。
5/10	食堂	高校生	職員が他児の薬を間違えて渡し、本児が服用する。
6/13	3階廊下	幼児	物を取ろうとした際、消火器の鉄の板の角でおでこをうち裂傷。
7/23	2階居室	小学生	物の取り合いから怒った児童が手にはさみを持ったまま叩きに行き、相手の額にかすり傷を作る。怒った児童は右手中指を切る。
10/10	小学校 児童玄関	幼児	スロープの手すりの下をくぐろうとした際、持っていた手が外れ転倒。その際コンクリートで後頭部をうち、裂傷。
11/18	食堂	幼児	食事の際、よく噛まず慌てて食べる為、のどに詰まりそうになり、えづく。
12/27	2階居室	小学生	些細なことからトラブルになり、怒った児童が相手の首を掴む。
12/29	小学校 校庭	幼児	ブランコから飛び降り着地に失敗。その後、後ろを振り向き戻ってきたブランコが当たり下唇を切る。
1/31	食堂手洗 い場	幼児	床に寝転がるので、職員が抱き上げようとした際、本児の右足膝下が手洗い場の下の際間に挟まる。
3/3	お風呂場	高校生	入浴後よろめき、戸のレールで膝をうち、裂傷。

3) 事故報告

日付	場所	児童	状況
4/14	2階居室	小学生 高校生	些細なことで口論となり、怒った児童が相手に暴力を振るう。
5/1	2階居室	小学生 同士	些細なことからトラブルになり、怒った児童が相手の首を絞める。引き離れた際も顔を蹴る。
5/6	3階居室	小学生 中学生	些細なことからトラブルになり、中学生が一方的に暴力を振るう。
1/13	えびす 公園	幼児	石段で転び、石段の角で左こめかみをうち、裂傷。

次年度の取り組み

- ・ 備蓄の確認 (年度始め)
- ・ 乳児院との合同での訓練実施の確認 (毎月)
- ・ 不審者対応の研修 (セコムへの協力依頼)・・・3年未満の職員対象

(15) 職員メンタルヘルスケア

- ・副主任制度の実施：
処遇職員の副主任を5名体制にする。
- ・施設長代理及び臨床心理士によるメンタルヘルスケア実施

(16) 人材確保

1) 実習受入窓口の拡大

社会福祉協議会による、教員免許取得希望者への「介護等体験事業」に施設登録を行った。しかし感染症拡大防止のため上記事業の実習は中止。

2) 令和2年度保育実習

①	7/27-8/7	1名
②	11/24-12/7	2名
	3/10-3/20	1名

- ・当施設の保育実習経験者より、令和3年度1名採用

【年間行事】

5/2	GWレクリエーション（室内遊び大会）	全児童
7/24	スナックゴルフ招待	小学生
7/25	聖智運動会	全児童
8/11	お盆レクリエーション（ゲーム大会）	参加希望児童
8/29	ふれあい縁日	全児童
10/24	ハロウィンイベント	小学生
12/20	クリスマス会	全児童
2/2	節分	幼児
3/6	卒園式	全児童